



平成23年12月1日
あゆみ保育園
園長 江郷茂男

早いもので、あっという間に今年もあと1ヶ月です。1年過ぎるのが早いですね。今年は今のところ大きな感染症の流行もなく、お子様も元気に過ごせています。しかし、毎年12月にはノロウィルスが流行します。又、インフルエンザの流行の兆しもあるようです。こまめに手洗い・うがいを実施し、体調を崩さずに楽しいクリスマス、年末を迎えましょう。

<12月の身体測定>

9日(金) 乳児クラス
13日(火) 幼児クラス

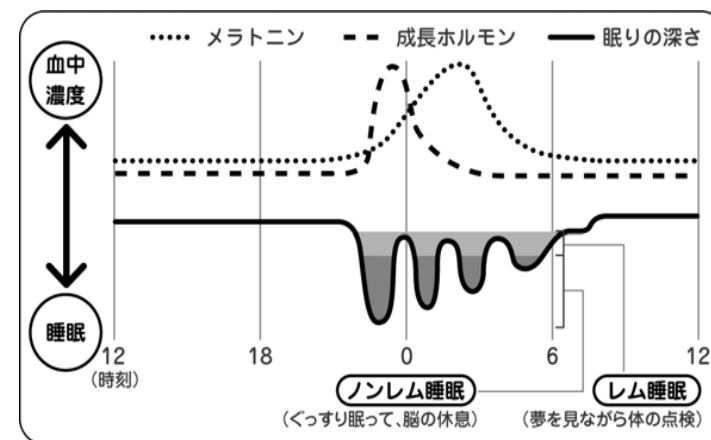
<11月の感染症>

●RS ウィルス 乳児 1名 ●マイコプラズマ 幼児 2名
幼児 1名 ●水痘 乳児 3名

《お子様の睡眠を大切に・・・》

クリスマスや大晦日など、12月はお子様にとって楽しい行事がいっぱいです。つつい寝るのが遅くなってしまうこともあるかもしれません。この機会にお子様の睡眠について考えてみましょう。

乳幼時期の子どもの身体や脳の成長を考えると、睡眠時間が足りていれば良いというものではなく、睡眠の時間帯が重要となってきます。それは、成長ホルモンの分泌と大きな関わりがあるからです。成長ホルモンは、寝ている間に多く分泌され、就寝後2～3時間後に最も多く分泌されます。午後10時～午前2時頃に多くなるため、成長ホルモンを効果的に出すには、午後8時～10時くらいに寝るのが一番良いといわれています。



《ノロウィルスに要注意!》

冬場に増えるノロウィルスは、通常10月から2月ごろまで感染のシーズンが続きます。今年は、まだそれほど流行の兆しは見られませんが、注意が必要です。

ノロウィルスはカキやアサリなどの二枚貝に蓄積されますが、貝類からの感染より、感染者の嘔吐物、排泄物からうつる2次感染のケースが多いです。

感染すると、激しい下痢やおう吐、腹痛があり、38度以上の発熱も伴います。今のところ、治療薬は開発されていないため、対症療法で水分を補給しながら回復を待つしかありません。

予防としては、感染例が報告されている間は二枚貝は加熱して食べる、石鹼でよく手を洗う、嘔吐物、便の処理方法に気をつける、などです。ノロウィルスを「手洗い」で殺すことはできませんが、手から洗い流すことができます。

感染者は症状が回復しても、その後1週間～1ヶ月間、排泄物とともにウィルスが体外に出るといわれています。発症から1ヶ月ほどは排泄物に触れないように気をつけ、触れる危険性がある場所は、塩素系消毒剤をしみこませた布などでふくようにしましょう。

ノロウィルス以外にも、ロタ、アデノウィルスなど冬場は感染性胃腸炎が大流行します。感染しないようにすることが一番ですが、万が一感染してしまったら、他のお子様につさないように気を配りましょう。

～「歯垢が赤く染まる液体歯磨き」を使用して歯磨きの練習をします～

日時：12月8日(木) 13:30～

対象：きりん組

6月に実施した「歯磨き指導」を、12月にもう1度実施します。この機会にお子様の「歯」について考えてみましょう。ご家庭でも仕上げ磨きの際にお子様の歯をよく見て下さい。虫歯になっている歯はありませんか？

今回も使用するのは、体に害のない液体歯磨きですが、ご心配な方は看護師までお知らせ下さい。赤い液体が衣服に付着すると落ちにくいことがあります。出来るだけ汚れないように注意して実施しますが、遊び着(スモック)をお持ちになるか、汚れても差し支えない服で登園して下さい。

～「ぺんぎんさん」を対象に「手洗い指導」を実施します～

10月に幼児クラスを対象に「手洗い指導」を行いました。ぺんぎんさんでも実施します。12月6日(火)に行います。ご家庭でもお子様の話をお聞きになって、生活の中に取り入れて下さい。『どんぐりころころ』を歌いながら手を洗います。「手洗い」をきちんとして風邪の予防をし、元気に冬を乗り切りましょう!!